

せんえんせいしきしょうがい 遷延性意識障害のことを知ってください

遷延性意識障害とは 何ですか？

「脳に受けた損傷により意識障害となりそれが続いている状態」のことです。
せんえん
「遷延」とは、長引くという意味です。

遷延性意識障害は どのような原因で生じますか？ どんな人に生じますか？

発症の原因は、事故や病気など様々です。
・交通事故やスポーツ事故による脳外傷
・脳梗塞や脳内出血などによる脳血管の病気
・溺水事故や心疾患等による低酸素脳症
その他にも様々な原因があります。
・発症する年齢層は子どもから大人まで幅広い
・男性にも女性にも生じる

「治らない」と言われた遷延性意識障害者に 対する医療にはどのようなものがありますか？

脊髄硬膜外
電気刺激装置
(DCS)

脳深部
刺激装置
(DBS)

など

新看護
プログラム

音楽
運動療法

再生
医療

保険医療ではまだ認められていないものの
将来の可能性を期待できる様々な試みがあります。
私たちも学習を進めています。

遷延性意識障害患者は どのような状態ですか？

本人は意思疎通が困難です。
また、身体麻痺など重度の機能障害があります。
多くの場合、経管栄養、痰吸引などの特別な
医療的ケアを必要とします。

遷延性意識障害者は どのような医療を受けていますか？

救急医療で一命を取り留めた後、意識の回復が
ない場合、医師から遷延性意識障害と診断されます。
遷延性意識障害は、重篤な意識障害と身体障害を
併せ持った、最重度の後遺症障害と言えます。
遷延性意識障害者は「医療・リハビリ・介護」と
高度で密度の高いケアを必要とします。

平成24年度より 介護職への医療的ケアの緩和
(吸引と経管栄養)が法的に認められました。

しかし、現在の医療制度では
受け入れのできる病院がとても少ないのです。
家族は受け入れてくれる病院を必死に探しています。
辛うじて療養型病床に入院しても、リハビリもなされず
寝たきりのまま置かれる患者も少なくありません。

適切で継続的なリハビリによって少しずつ回復する患者も多く
経管栄養から経口摂取が可能になった
少しずつ意思の疎通が可能になった
などの事例もあります。

遷延性意識障害者の福祉

病院を転々とした後 在宅介護となる人が
多いのですが、医療的ケアを必要とするため
デイサービスやショートステイの受け入れ先
がありません。

従って家族は24時間の介護を余儀なくさ
れています。どんなに重い障害があっても仲
間の存在、社会とのふれあいは大切ではない
でしょうか。しかしながら、現状は家の中で
孤立状態にある介護者も少なくありません。

また、中途障害の特徴として、横の繋がりが
薄い、そのため福祉の情報を得にくいとい
う面があります。家族は24時間介護の心身
の負担だけでなく、将来への不安に苦しめら
れており早急な対策が必要です。

私たちは今、厚生労働省を始め各部局に
以下のことを要望しています。

- ①障害の極めて重い障害者への施策の拡充
- ②家族が介護ができなくなったときの、遷延性
意識障害者の処遇について安心できる取り
組み